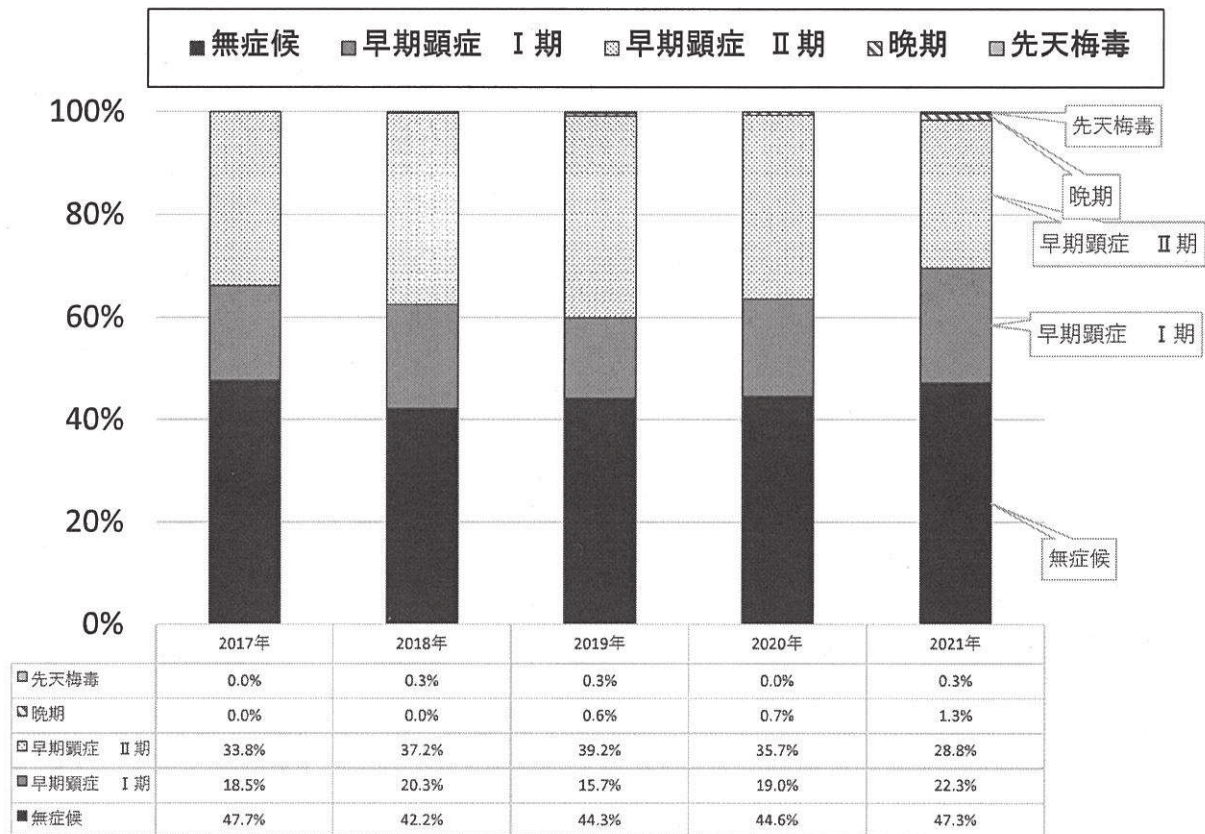
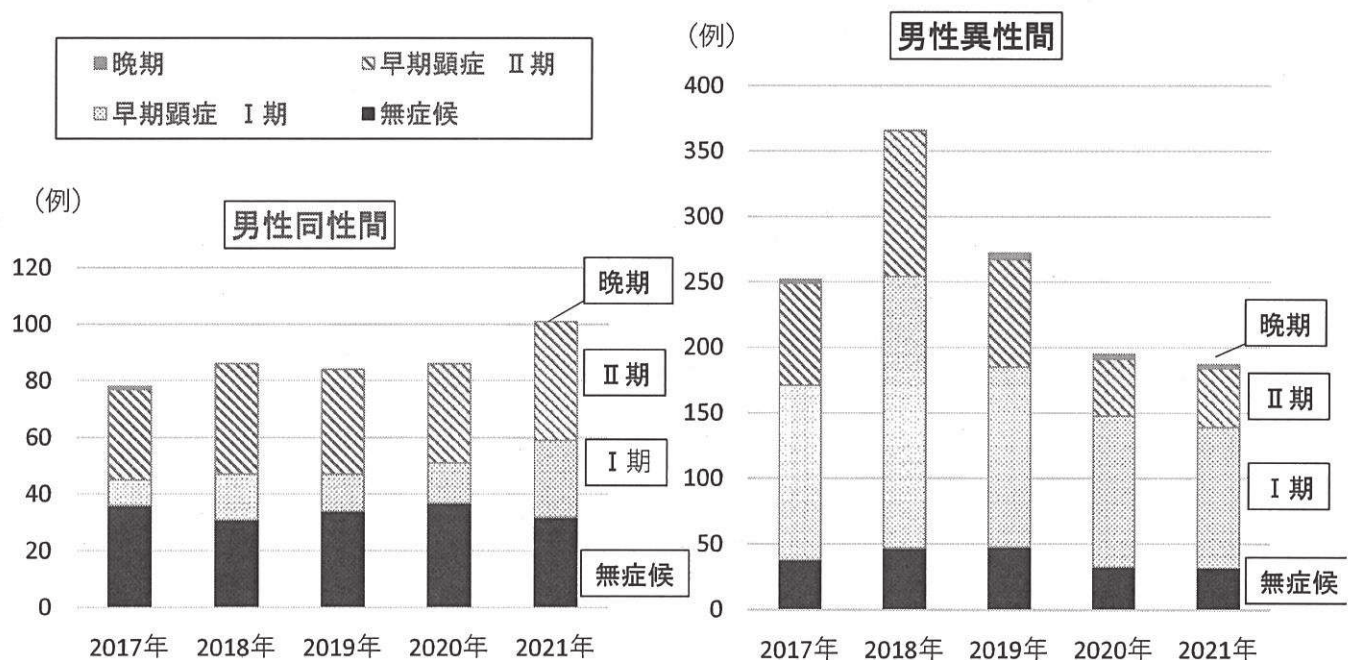


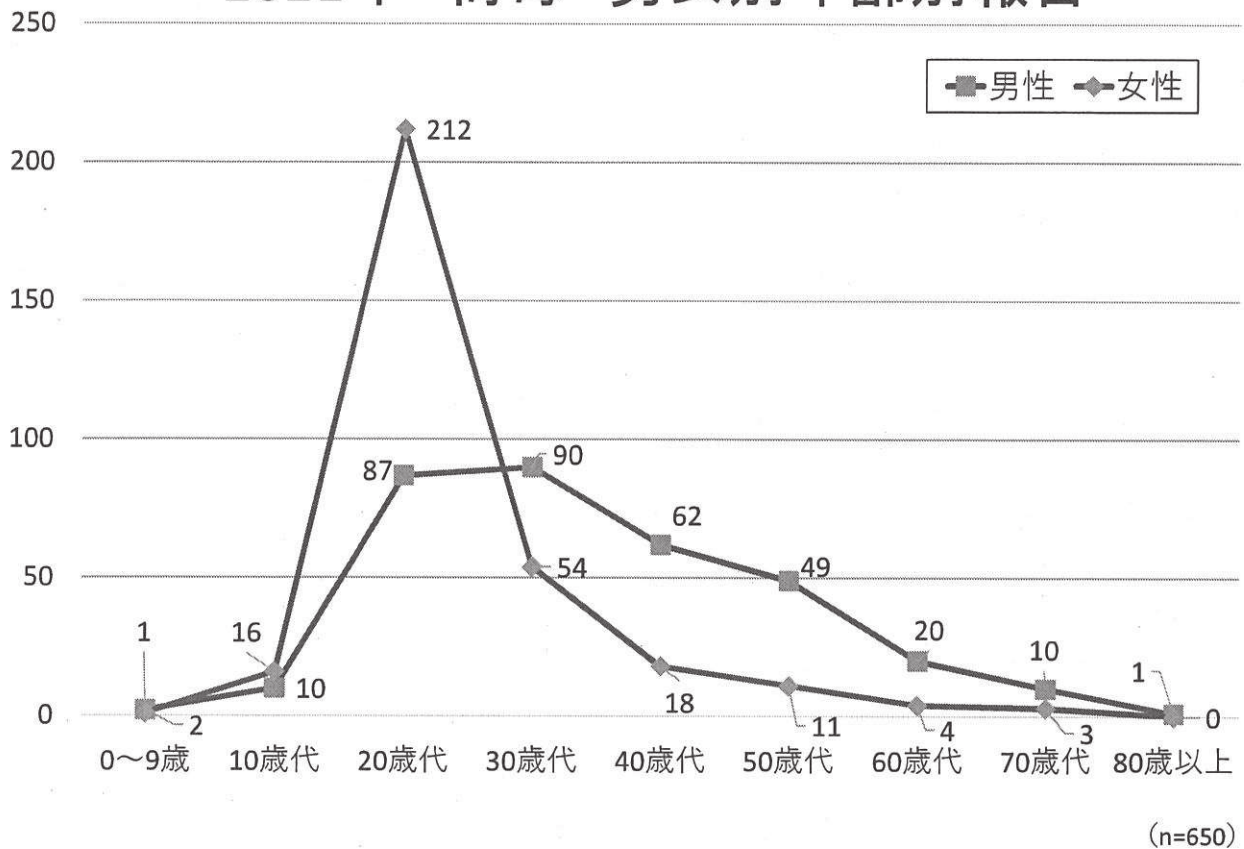
病期別届出数の割合推移(女性)



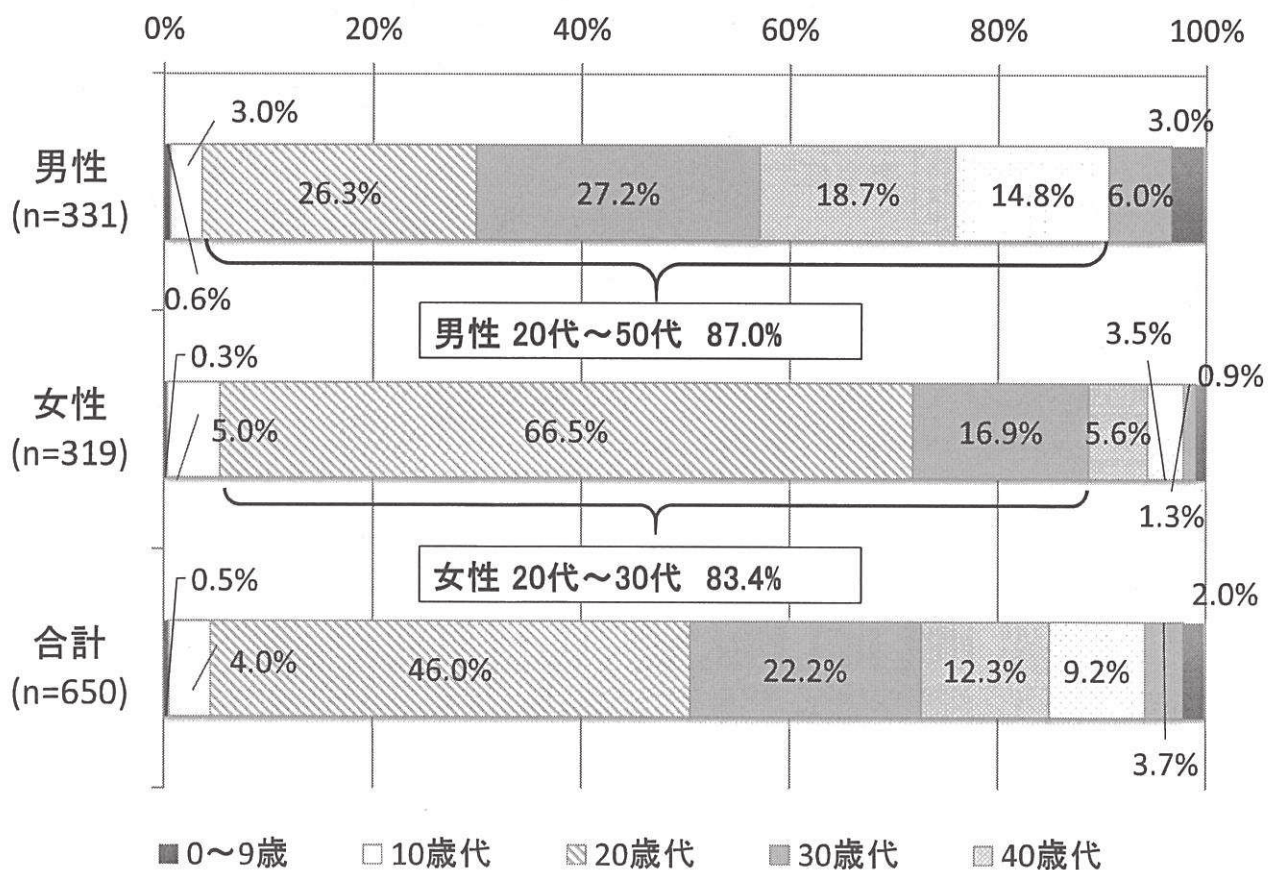
感染経路別病期の推移(男性)



2021年 梅毒 男女別年齢別報告



2021年 梅毒 男女別年代別割合



2021年発生届出数上位医療機関

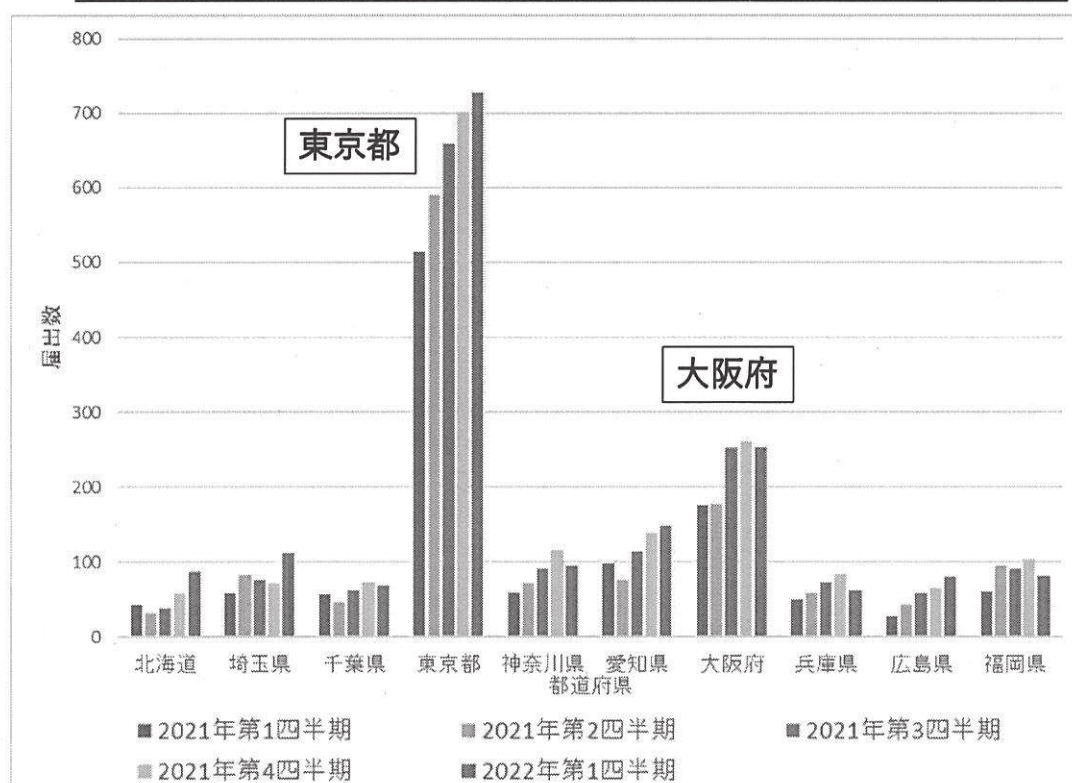
【男性】

診療科	区	届出数
診療所A 泌尿器科	中央	33
診療所B 腎泌尿器科	西	25
病院a ー	都島	24
診療所C 皮膚科・性感染症皮膚科	北	22
診療所D 泌尿器科	北	20
診療所E 総合診療科	北	18
病院b ー	住吉	15
診療所F 婦人科・内科	中央	14
診療所G 婦人科・内科	中央	13
診療所H 泌尿器科	東成	11

【女性】

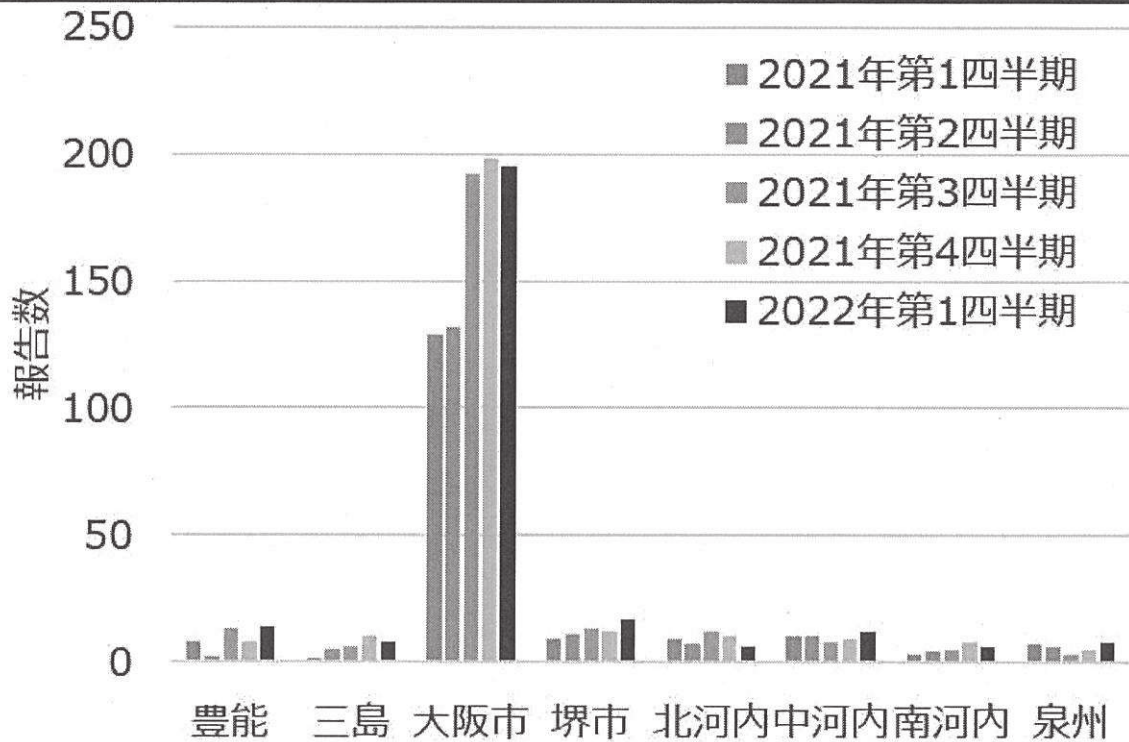
診療科	区	届出数
診療所F 婦人科・内科	中央	92
診療所G 婦人科・内科	中央	67
診療所I 婦人科	中央	17
診療所J 婦人科	中央	9
診療所C 皮膚科・性感染症皮膚科	北	5
診療所K 婦人科	淀川	5
病院c 婦人科	浪速	5
診療所E 総合診療科	北	5
診療所L 婦人科	中央	5
病院d 泌尿器科	北	5

都道府県別届出数(届出数上位10位を抜粋) 2021年第1四半期から2022年第1四半期



日本の梅毒症例の動向について(国立感染症研究所HP)

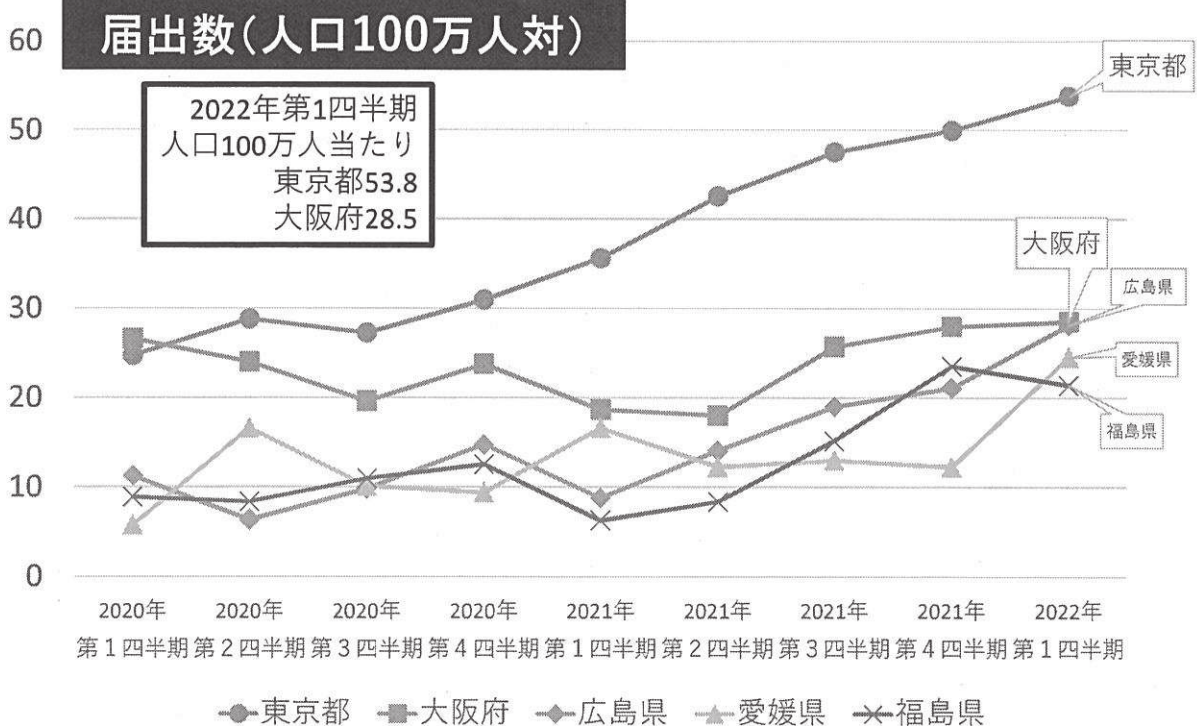
大阪府内発生状況
2021年第1四半期から2022年第1四半期



梅毒届出状況(大阪府感染症情報センター HP)

梅毒発生届出数の推移

(2022年第1四半期上位5都道府県を抜粋)



日本の梅毒症例の動向について 国立感染症研究所HPより改変

別記様式 5-16

梅毒発生届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第6項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 令和 年 月 日

医師の氏名 _____
 従事する病院・診療所の名称 _____
 上記病院・診療所の所在地（市） _____
 電話番号（市） _____

（※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載）

1 診断（確定）した者（死体）の類型	1.1 感染原因・感染経路・感染地域
・梅毒（確定例） ・梅毒状病状体保有者 ・感染後死亡者の死体	① 感染原因・感染経路（確定・推定） 1 性的接触 （A. 性交 B. 経口） （ア. 同性間 イ. 異性間 ウ. 不明） （性風俗産業の従事歴（直近6か月以内）） 1) 有 2) 無 3) 不明 （性風俗産業の利用歴（直近6か月以内）） 1) 有 2) 無 3) 不明 2 transfusion 使用 3 母子感染（ア. 胎内・出産時 イ. 母乳） 4 輸血・血液製剤 （輸血・血液製剤の種類・使用年月・状況） 5 その他（ ） 6 不明
2 性別	② 感染地域（確定・推定） 1 日本国内（都道府県 市区町村） 2 国外（国名） 3 不明
3 診断時の年齢 ④ 経過は月数	③ 過去の治療歴 1 1年以内 2 1年以上 3 なし 4) 不明
4 病状	1.2 感染後のまん延の防止及び当該者の感染のために必要な事項として厚生労働省が定める事項
① 典型 1) 早期梅毒（一期、二期） 2) 晩期梅毒 ② HIV感染症合併の有無 1) 有 2) 無 3) 不明 1) 有 2) 無 3) 不明 ・初期梅毒（性器、肛門、口唇、口腔粘膜、その他） ・後天性梅毒（性器、肛門、口唇、口腔粘膜、その他） ・扁平性梅毒（無痛性） ・梅毒性パテラ ・ゴム腫 ・心血管症状 ・神経症状 ・眼症状 ・潰瘍性皮膚炎 ・淋菌性皮膚炎 ・梅毒性皮膚炎 ・Rash-like 症 ・その他（ ） なし	④ 過去の治療歴 1 1年以内 2 1年以上 3 なし 4) 不明
5 診断方法	⑤ 過去の治療歴 1 1年以内 2 1年以上 3 なし 4) 不明
① 梅毒（確定例）の場合 ・皮膚からの病原体の検出（染色法、PCR検査） ・次の1）、2）の両方の抗体検査による血清抗体の検出 1) カルジオリピンを抗原とする検査 2) T. pallidumを抗原とする検査 ② 梅毒状病状体保有者の場合 ・次の1）、2）の両方の抗体検査による血清抗体の検出 1) カルジオリピンを抗原とする検査 2) T. pallidumを抗原とする検査 （抗体価を記載、16倍超出以上が陽性） 結果（ ） 2) T. pallidumを抗原とする検査 結果（ ） ・その他の検査方法（ ） 結果（ ）	⑤ 過去の治療歴 1 1年以内 2 1年以上 3 なし 4) 不明
6 初診年月日 令和 年 月 日	⑥ 経過の有無 1) 有（ ） 2) 無（ ） 3) 不明（ ）
7 診断（確定）年月日 令和 年 月 日	
8 感染したと推定される年月日 令和 年 月 日	
9 発病年月日（※） 令和 年 月 日	
10 死亡年月日（※） 令和 年 月 日	

（1、2、4、5、11、12欄は該当する番号等を○で囲み、3、6から10欄は年齢、年月日を記入すること。）
 （※）欄は、死亡者を検出した場合のみ記入すること。
 （※）欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。
 4.5欄は、該当するものをすべてを記載すること。

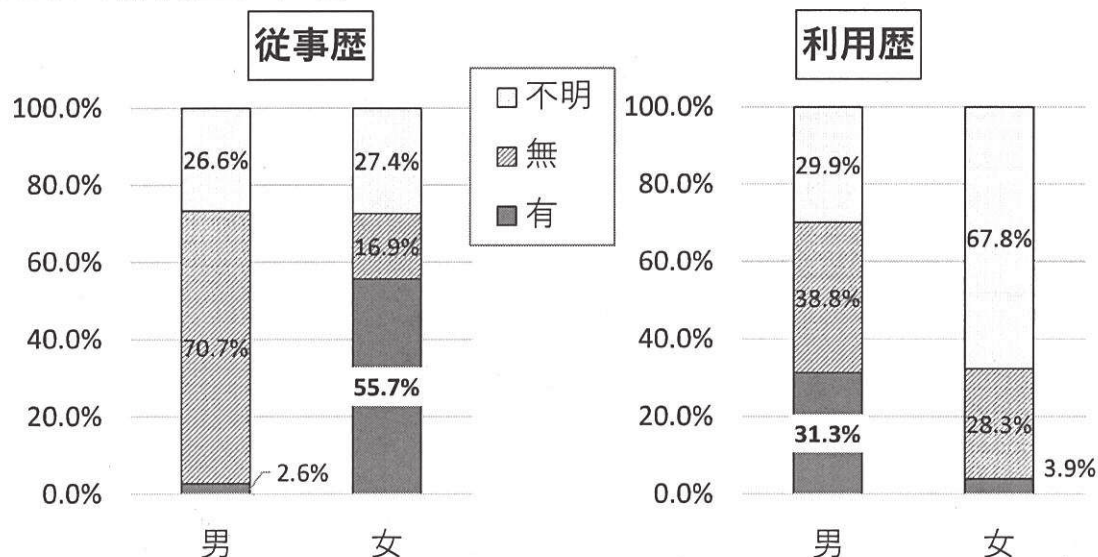
2019.1.1～

梅毒発生届様式変更（項目追加）

- ・ HIV感染症合併の有無
- ・ 性風俗産業従事歴・利用歴
- ・ 過去の治療歴
- ・ 妊娠の有無
- ・ 症状項目「口腔咽頭病変」追加
- ・ 診断方法「PCR検査」追加

【性風俗産業】（直近6ヶ月以内の利用歴・従事歴）

2021年



「従事歴あり」は女性の55.7%

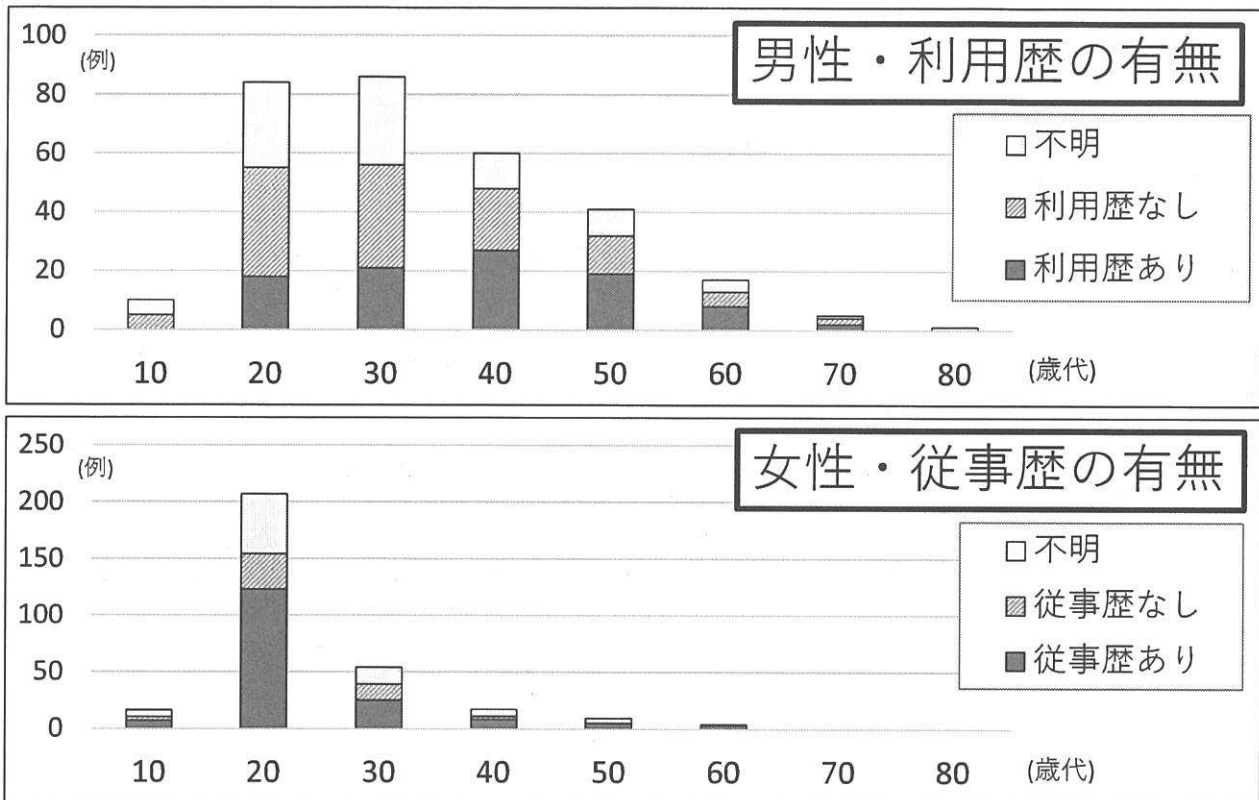
従事歴 (届出数)	有	無	不明
男	8	215	81
女	171	52	84

「利用歴あり」は男性の31.3%

利用歴 (届出数)	有	無	不明
男	95	118	91
女	12	87	208

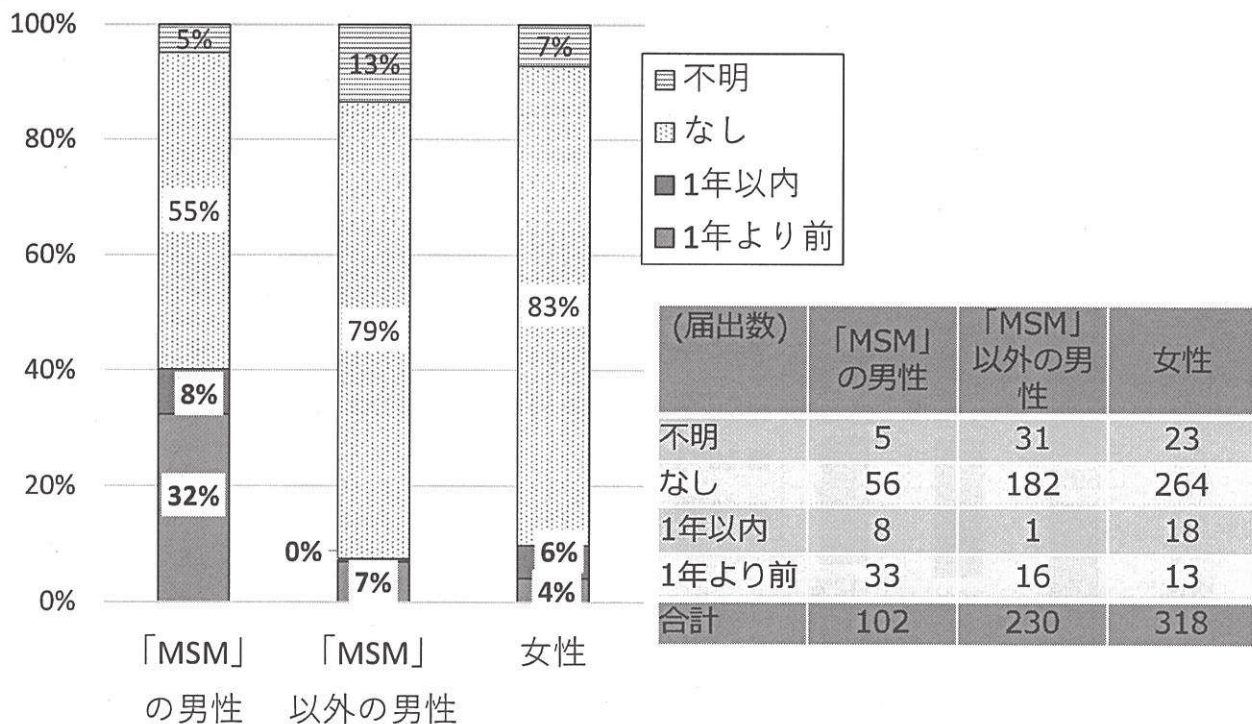
2021年

【性風俗産業】(直近6ヶ月以内の利用歴・従事歴) 男性・利用歴と女性・従事歴 年齢階級別比較



過去の梅毒治療歴

2021年



※MSM：感染原因・感染経路において男性同性間の性的接触のもの